

北海道札幌

道原村古子

少田之原古子
台原





大阪市西區南堀江通壹丁目
勝本忠兵衛

有る二十分出るに接するに
見たり生二十九のうす
申詳者のねは須磨檀家
一筆の時分定任

大見の石側の由甚好め
う栗の申さる家お聴

遊一色に静教と
少生と世を、福急辨任

と新しゆ為め此今の如
漸次肥満血色能之相成

心身の熟了社の連中と
先の御一班株主と高名

河のうす都々悪名明白

城崎温泉、出急げの共

城崎温泉、出急げの
仰刷竹を此日株主さま
の御送流しをせん相し十日

の拂也を

鑑、拂込み

泰然として株主を

侍り

ヒヨの株拂込みに就て

ヒヨより御託ありたる時

其心持能く拂込む

其の如く決心候、世に難く

何事にも感情のあはれ

氣云ふより沖心す

少生乃の御族をヒヨに對

從來より町奉行取柄に於て

敵頭徹尾感情にあらざる事

少半原の馬路

従来より町奉行の取柄に於て

徹頭徹尾感情をあらわす事

を思はしむる方針を以て

為村と己と察し居らむは

小生より町奉行の書翰を以

し其の誠を見て勝おそ

虚心坦懐ありと申し行く

人に見せ教らし居らむは

何處迄も町奉行の御心算に

大兄より自然に言ふは誠

を教へるの際も大のりこ

りこ

教の子大好物著のど

其時其の楽一サ一の甲心

其の御心算

其の御心算

人に見せ給らし居れば
何處にも町奉行の御考
大兄も自然に可い
も後送の際も六のり
これ等

粒の子大好物著の
此等味長之
所
所
所

下福急々大地
十
所
所
所

川田大兄

山田大兄
申下